

## 【男女共同参画のまちづくりのための意識調査自由記述】

問 26 あなたが暴力にあたる行為を受けていることをお子さんは知っていましたか。

- 子供は意味を知らない
- 結婚する前の元交際相手
- 昔の交際相手の事なので、子どもは知らない。
- 言葉の暴力
- 子供が大人になってからの時期に受けた
- 結婚前のことなので、その時点では子供はいなかった。
- 該当なし
- 子供が産まれる前の事なので知らない。
- 暴力を振るった事がない。
- ない
- ナシ
- 小さかったので、分かっていたのかわからない

問 27 問 25 のような暴力を受けたときだれかに打ち明けたり相談したりしましたか。

- 好きだから（互いに）されるのが、愛情表現だと思った。
- 家族

問 28 どこ（だれ）にも相談しなかったのはなぜですか。

- 当事者でないと理解出来ないと思ったから。
- もう、この才になって何も考えず暮れている
- 口喧嘩がヒートアップした程度だったから。
- 自分で対処して結論を出した。
- 他人に知られるのも嫌だし、相談するとうわさが広がると思った。

問 30 あなたが相手と別れなかった最も大きな理由は何ですか。

- いっさい生活費を、渡してくれなかった。1日1日を必死で働き、別れるという行動を起こす時間がなかった。

- 冷静になってまあ辛ばうできると思った。
- 相手は死亡したから。
- わからない
- その時の感情、一時的なものだから
- 子どもが相手を取られると思ったから。（経済的理由です、親権のこと）
- 暴力を肯定するのではないが『親からうけた平手うちも60年以上経た今、感謝の気持で思い出す』ことがある
- 別れたい理由を言えなかった
- 酔ってる時だけだから
- ずい分と昔の話で自分にも悪い所があったので
- それでもまだ好きだったから。
- 卒寿になって何もわからない
- 常習性がなかったから。
- 親が世間体を気にする人だったので言えなかった。
- ケンカのはずみでだったから、私も悪い。かなり暴言を吐いたので同罪。
- 相手がそれ以降、2度と暴力を奮わなくなったため。
- 離婚するのが面倒

問 31 配偶者や交際相手との間における暴力を防止するためにはどのようなことが必要だと考えますか。

- なぜ暴力をおこすのか2人で話し合ったり、暴力の原因となることをほりさげて心の傷などをいやしていかないと、なくならないような気がする。
- 道徳教育
- お互い信頼すること
- 別れた方がよい。別居がよい。
- 暴力は自分の気がおさまるが相手の人がきずつくだけ
- 映画等も
- 必要が認められれば、加害者・被害者のケア
- 人が尊重されてない。人格に対する尊厳への畏敬

## 【男女共同参画のまちづくりのための意識調査自由記述】

を如何に共有するか。

- 自分自身が変わることにつとめました。
- 言葉の暴力もある。信頼関係がなければ…痛手は大きい。学校、社会、家庭生活では体罰がまだまだ残っていると思う。
- 市などの介入をしやすい必要がある、疑いの時点でもしっかり追及すべき
- 相手をしっかり見極めてから交際する
- 自身の性格・自覚
- 防止はムリだと思う
- 暴力をする側も受けた側も治療が必要。専門家のカウンセリングの充実が必要。
- 被害者をかくまう。保護する体制をととのえる
- 今のままで良い
- 何かあった時に、すぐに逃げ込める所を作る。
- 幼い頃より暴力のこわさを教育する。
- なし
- 依存先が他にないから、暴力をうけてもその人に近よってしまうこともあるのでは？
- 自己啓発、精神力の強化。
- 老を何とか暮れています
- 暴力を振う者はどこか線が切れている
- 相手を思いやる気持ちが大事だと思います。
- 人間の人格の完成度が問題で、未完成の成人を再教育するのはむずかしい。幼い頃から豊かな心を育む環境が大切だと思う。
- 精神障害、発達障害、コミュニケーション障害 etc を早期にみつけ正しく治療する。
- 子供の頃、けんかしたりケガしたりする経験も必要。
- 夫婦ゲンカは犬も食わぬ
- 教育でうながす事は大切ですが、全て学校の負担にしないでほしい。新たな場所・担当をもうけて、動いてほしい。
- どこまでが暴力なのかをきちんと教育する場が必要。無意識に行っていてだれも注意することがな

ければ悪いと思っていないから。

- すべて親や大人の責任！！ベースは生活環境だと思う。3つ子の魂百まで、親の背中
- 暴力をふるった人へのカウンセリング
- 目には目を。やられた事をそっくり相手にやる
- 駆け込み寺のような、すぐに避難できる場所を作る。

男女共同参画や DV に関する事で何かご意見がありましたらご自由にお書きください。

- DVに関しては、本当に相談できる場がないと思う。秘密厳守とされていてもなかなか勇気を出して声を挙げられない。もっと声を挙げやすい場環境作りが必要。
- DV等が表面化するのは、氷山の一角だと思います。泣き寝入りするのは、弱者です。
- みんなが安心してのびのび生活できるような社会づくりが必要だと思います。私は現在DVに関わる仕事をさせて頂いております。その中である弁護士さんの言葉ですが、もっと社会全体がDVに関する教育が必要だと云っておられました。古い慣習から抜け出すのは大変かと思いますが、少しずつ変っていけたら良いなと思います。
- DVのことはわかりません。
- DVについては、そもそも本人が「DVを受けている」自覚がないということが1番大きな問題だと思う。人により「DV」だと受けとめるかどうかには違いがあるし、夫婦間やカップル間の、2人にしかわからない雰囲気ややりとりもあるため、線引きが難しく、何よりも「自分の気持ち」を大切に。「自分を大切にしよう」という啓発や教育が必要であると感じた
- DVは許されないことです。やはり小さい時から人を大切にすることを教えるのが大切だと思います。いろいろな分野に通じることと思います。
- DV、夫婦間、子供と共に意思疎通を良くしてお

## 【男女共同参画のまちづくりのための意識調査自由記述】

- く。共同参画に関しては企業の受入れ体制の意志改革、女性の意思
- DVは個々の問題であると思いますが、男女共同参画は、自治体が積極的に市民に働きかけてほしいと思います。
  - DVやセクシャルハラスメントは身近な方からの行為である場合が多いと思いますのでなかなか相談に結びつきにくいようだと思います。
  - LGBTという言葉や概念もとり入れて、人を丸ごと受け入れる人間作りを考えることが、DVや虐待、セクハラ等の問題になんらかのテコ入れになるのでは？と思っています。
  - セクシュアル・ハラスメントやDVについては、どこまでがそれらにあてはまるかについてグレーな面も多く、回答が非常に難しかったです。
  - 何事でもですが、子供の頃からの教育が重要であると考えます。そして、DVに関しては、加害者、被害者両方に対してのケアが必要かも知れません。
  - DVにあっている友人がいましたが、家庭内の事を他人に相談できず、悩んでいました。離婚後の経済的な事で心配していましたが、理解ある、会社（男女共同参画）で働き始めて、自信をつけ、脱出する事ができました。
  - DVは、分からない、複雑で
  - 夫からDVを受け、別居したのに児童手当が夫に入り続けるので、子どものために使えず、何のための手当てなのかわからない。DVを受けた後の生活立て直しをもう少ししやすくしてほしい。
  - DVは深刻な問題である為、守秘義務が必ず守られることを強くアピールし、法的な制度にも精通していることをアピールする必要があると思う。専門的な知識や言葉、態度で接することのできる人が対応し、専門機関とのネットワーク、又長期的な関わりや転居によるフォローも必要と思う。マニュアルや相談窓口の人材育成も大切だと思う。地域では恥ずかしいという方もいらっしゃると思
- うので他市とも協力し、相談しやすい（例えば、少し離れた市町の人だと自分を知らないので話しやすい等）環境も必要かもしれない。
- セクハラ等の性におけるあれこれが女性優位になりすぎているように思います。
  - DVに関してはなかなか相談窓口に行く勇気が持てないと思います。私とその立場だったら恐いし恥ずかしいと思ってしまうんじゃないかなと思います。
  - 経済的DVを受け、年金等の支払いがとどこおったので相談したが（市役所・年金事務所）、「ご主人に収入がある」の一点張りで相手にされなかった。生活ができなく苦しかった。
  - DVを受けている友達がいました。
  - DV：DV＝悪ではないと思う。その人の昔の背景に何かがあったから、そういう行動に無意識に取ってしまっただけの様な気がします。良い、悪いの判断が付かないまま大人になってしまったか、その過程で心が傷付いてしまったからなのではないか。そう思うと、DVをする人だけではなく、周囲の環境にも左右される所が大きいので、DVをしてしまった本人へのカウンセラーも必要なのではないかな、と思う。
  - 女性が片親で子供を育てることが、経済的にのみ大変なので、離婚に至らない女性（DV体験者）が多いのだと思います。女性に経済的余裕さえあれば、すぐ離婚出来ることでしょう。そして、DVも離れることで解決するというのが本当のところだと思います。
  - DVについては、テレビやドラマで見聞きしたことは、有りますが・・・
  - 公的機関に相談窓口があったとしても人目が気になり相談には行きにくいと思います。たとえば市役所にも知っている人がたくさんいる、市役所で知っている人に出会う等です。
  - DVに関することで、設問には、配偶者や交際相

## 【男女共同参画のまちづくりのための意識調査自由記述】

手が主な相手でした。しかし、近くを見ていると、嫁姑間にも似た様な話を耳にすることがあります。それは、DVとは言えないのですか？同居家庭が少ない事は、何ら関係が無いとは言い難いのではないのでしょうか。昔の考えに固まり、信じきっている年輩の方には、どう向き合えばいいのか考えてしまいます。

- 「DV」「暴力」もほとんどは金銭問題ではないですか？子供の教育は親が教えられない（低学力）ので塾に行かせているが、塾には、ほとんど意味がありません。親が子供から離れ自分の時間がほしいだけと思います。女性も社会に出るべきです。方法はボランティアを含めて考えるべきです。最後に「保護費」は減らすべきです。特に教育関係（甘えてる人あり）

このような事を考える前に施設を充実させるべきだ。後先が反対だ。子供が置き去りとなるおそれがある。

- DVについては、手をあげることが悪いのはもちろんだが、相手が激昂して手がつけられない場合などに それ以外の手段が見つからずに手をあげる、といったこともあると思う。それでも やられた側が「暴力だ」と訴えればDVになってしまうので難しい問題。
- 「相談した」ことの早期解決を目指そうとしすぎると思われる。緊急事態は別として長期にわたり、DV等を受けてきたのであれば、相手との関係性そのものを見直す期間が必要であり、その意味で、早期解決をすることの心理的負担は多いように思う。カフェやラウンジ的な「話をしやすい場」を設定し、何気なく情報に触れ、相談者の心理的葛藤に寄り添いながら解決策を模索できる／してもいいという雰囲気を作ることが大切のように思う。通報件数や解決の数で行政としての成果を示している現状では、目に見える成果がすぐに得ることが期待できない対策は取り組みにくい

もしれないが、長期的な観点からいえば、そういった対策が一番、効果が期待されるのではないかなと思う。